

坂東市4Hクラブがアフリカの農業普及員と交流しました

6月27日（金）に、坂東市4Hクラブが、独立行政法人 国際協力機構（JICA）の 아프리카地域の農業普及員の現地研修を受け入れました。この研修は「青年農業者育成と農業普及活動」を学ぶ目的で行われており、坂東市4Hクラブは数年前からこの研修を受け入れています。今回は、アフリカ9か国、11名の研修員が参加し、クラブ員7名で対応しました。

まず、クラブ員の根深ネギ栽培ほ場及び作業場にて、栽培概要の説明や手掘りでの収穫作業及び皮むきの実演が行われ、研修員は見慣れないネギや機械に興味津々な様子でした。研修員からは「定植時の苗の深さはどれくらいか」、「育苗中に葉を何度か切る目的はなにか」と技術的な質問が多くあがりました。

次に、普及センターに移動し、4Hクラブなど青年農業者や組織活動について意見交換を行いました。研修員からは「4Hクラブの『4H』の意味はなにか」、「4Hクラブの活動内容は？」などの質問があがりました。クラブ員からは、アフリカと日本の気候の違いを質問するなど、貴重な交流の機会となりました。

普及センターでは、今後も関係機関等と連携して、青年農業者の活動を支援していきます。



写真．現地研修の様子（6/27）

令和7年7月15日 坂東地域農業改良普及センター 郡司（担い手）